

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表: 令和 5 年 2 月 28 日

事業所名 つみき第3 保護者等数(児童数) 28 回収数 10 割合 36%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	9	1		少し狭く感じる。	物の配置等を工夫し部屋を広く使えるよう配慮していく。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	10				引き続き研鑽に努め適切な支援が提供できるようにしていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	7	3		エレベーターが狭い。	建物の構造上仕方ない部分はあるが、室内のバリアフリー化などに配慮していく。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	9	1			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	8	2			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6	3	学校で交流できるので求めている。	個々の特性に応じて必要な経験ができるよう、交流についても検討していく。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1			引き続き契約時に細やかな説明ができるよう心掛けていく。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	10			申し送り時にていねいに話をしてくれている。	引き続き丁寧な申し送りを通して、利用児の状況について共通理解を計れるようにしていく。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	7	3			申し送りや電話連絡等を通して、きめ細やかな支援を提供していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	3	4	共働きの為保護者会があっても参加できない。	コロナ禍の為保護者会等を見送ってきたが状況を踏まえ開催を検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	2			契約時の説明の他、定期的なアナウンスを検討していく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	10				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	8	2			会報への自己評価の実施状況の掲載などを通し、周知を継続していく。
⑭	個人情報に十分注意している	10				引き続き個人情報の取扱いに留意していく。	
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	8	2			マニュアルの所在について事業所内に掲示するなどし周知する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	8	2			実施状況の周知を徹底していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	9	1			個々の児童の状況を踏まえ、通所を楽しめるよう支援していく。
	⑱	事業所の支援に満足している	10				引き続ききめ細やかな支援を提供していく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等  
 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5年 2月 28日

事業所名 つみき第3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	2	室内にできるだけ物を置かず、広く使えるようにしている。	引き続き、広く使えるよう収納等工夫していく。
	②	職員の配置数は適切である	7				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	1	できるだけ段差がなくなるよう、室内はフラットになっている。	建物の構造上仕方ない部分があるが、必要に応じて手すり等の設置を検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	3			事業所の月目標の設定などを検討していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2			結果の公表について、HP上での公表を職員にも周知していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	5		第三者評価が未実施であることを職員間で周知していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2			法人研修の内容の共有を図る。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		太田ステージによるアセスメントを実施している。	支援計画作成のプロセスを再周知することでアセスメントを実施していることの理解を深める。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	3	2	2	出勤時間が異なるので、紙面にて役割分担について確認している。	出勤時間に応じた打ち合わせが実施できるよう検討する。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		退勤時間や送迎により不在の職員がいるが、振り返りを行っている。	引き続き、参加できる職員で振り返りが実施できるようにしていく。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	7					
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6	1			ガイドラインにかかる研修を通し て、基本活動の理解が深まるよう にしていく。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	5	2		児発管を中心に状況 に応じ最適なものが 参加するようにしてい る。		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡）を適切に行っている	7			学校と良好な関係を 築くことで情報交換を 細やかに行っている。		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2		現状医療的ケア児の受け入 れはないが、必要な場合には 連絡体制が取れるよう留意し ている。		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との間で 情報共有と相互理解に努めている			5	2	保護者の求めに応じ、 必要に応じて連絡体 制を構築するよう留意 している。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している			5	2	保護者には求めがあ れば情報提供を行う 旨周知している。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修を 受けている	7				区の子供子育て支援 拠点（児童発達支援 センター）や児童相談 所と連絡体制を構築し ている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会がある			7		公共施設を利用する 際に、交流ができるよ うにしている。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	2	5			法人の代表者が参加 している。	協議会の内容等をフィードバック する方法を検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持っ ている	7				送迎の際に、申し送り を密にしている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	5	2				
	保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	7				
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			送迎の際の申し送りを 通して、相談しやすい 関係性を構築してい く。		
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いる		2	5		コロナ禍もあり活動を控えていた が、状況を見て再開を検討してい く。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			重要事項説明書に記載している。	苦情があった場合の対応について検討する。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			法人の会報と月予定で周知を図っている。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	7				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			7		コロナ禍のため行事の実施自体を見送ったが、状況を見て実施と地域住民の招待を検討する。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		防災研修を避難訓練の一環として行っている。	散歩等の際に利用児童へ避難場所の周知を図るなどして、引き続き避難訓練を行っていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			虐待防止の研修と一緒に、身体拘束に関する研修を行っている。	身体拘束については実施しないことを前提に、保護者からの申し出等も踏まえ、必要に応じ検討していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		2	5	保護者からのアレルギーの申し出を求めている。	アレルギーのある子には別のおやつを提供するなど申し出に応じた除去を引き続き徹底していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		法人全体で作成・共有している。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。